



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】 平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

卒業式を挙行

◆感謝を胸に未来へ巣立つ

令和2年度平館高校卒業式は3月1日、同高体育館で行われ、卒業生69人がそれぞれの思い描く未来に向けて母校を巣立ちました。

谷藤節雄校長は式辞で「未来の予測が困難で先が見えない時代だからこそ、自分で情報を収集し、自分で考え判断しながら、自分の言葉で表現することが大切」と激励。田村正彦市長は「市で開催する2年後の成人式でもう一段成長した姿を見せてほしい」と温かい言葉で祝福しました。卒業



紫根染のコサージュが胸を飾る

生代表の遠藤朱梨^{あかり}さんは、答辞の中で家族に対し「辛く当たって傷つけてしまったこともあったけれど、家族の温かな支えがあったからこそ、ここまですることができた」と感謝を述べました。

新型コロナの影響で、昨年に引き続き在校生は不参加。家族などの参加数を制限しての式は常に温かな雰囲気には包まれていました。

◆3月5日現在の進路状況 ※進学合格者数は延べ人数

進学決定率、就職内定率共に、100%を達成しました。進学先は、岩手県立大や岩手保健医療大、盛岡大短期大学部、菜園調理専門学校、県立産業技術短期大学校などで、市内企業への就職者数は16人です。

進学・就職状況	合格・内定数
4年制大学	5
短大	4
専門学校	19
大学校	4
就職(全て県内)	39

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介!



家庭研究部

工藤 永美華^{なみか}さん

(2年:東京都世田谷区立弦巻中出身)



山田高との復興交流スクールで山田町のホストタウンであるオランダの料理を作る工藤さん(写真中央左)

★平高に入学した理由

昨春、東京都世田谷区から父の実家がある八幡平市に引っ越し、平高に入学しました。通学の利便性の良さから家族に勧められたこと、縫製や調理の技術を学べる家政科学科があることが入学の決め手でした。東京の学校と比べ、部活動が盛んで驚きました。

★平高の魅力は?

学校全体が盛り上がる体育祭などの行事や学校生活の楽しさが魅力です。個性的で面白い友人や先生が多く、笑いが絶えない毎日です。スキー

授業は寒いですが、レベル分けされた授業内容はとても充実しており、来年が待ち遠しいです。

★挑戦していること

積極的に家庭クラブの活動に参加しています。入学前は縫製などの経験はありませんでしたが、引っ越しを機に新しいことに挑戦したくて、頑張っています。

★将来の夢は?

エンターテイメント関係の仕事に就くのが夢です。被服の知識や縫製技術を高め、演劇の衣装製作などを作りたいです。



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

入学式を挙行

◆夢の実現に向け、はじめの一步

令和3年度平館高校入学式は4月8日、同校体育館で行われ、真新しい制服に身を包んだ新入生50人が北島亨校長から入学の許可を受けました。

北島校長は「高校生活での目標を持ち、成し遂げるために誰かを頼るのではなく、自ら考え主体的に行動してほしい」と式辞。田村正彦市長は「平高は市内



新入生代表として宣誓する山下さん

唯一の高校であり、地域住民との交流も深いため、八幡平市立高校と呼んで差し支えない高校。皆さんの活躍は市民に力を与えている」と

入学を祝いました。新入生代表の山下実桜さんは「精一杯努力すること、積極的に取り組むこと、豊かな人間性を育むこと」と宣誓。迎える在校生代表の生徒会長神田萌さんは「自分たちの未来は自分たちの手で切り開いてほしい」と新入生を激励しました。

新型コロナウイルス感染防止のため、出席者を制限し、簡略化された式の中、新入生に向けられたまなざしは期待に溢れていました。

◆部活動を選ぶきっかけに

新入生向けの部活動紹介を4月9日に行いました。部ごとに、実際に使用する道具を見せながら、活動の様子を紹介。目標に向け切磋琢磨しあえる仲間を募集しました。



活動内容を説明する山岳部員

★平高に入学した理由
平高に通っていた兄が学校での出来事を家で楽しそうに話しているのを聞き、雰囲気がよくとても明るい学校だと感じたからです。

★平高の魅力は？
優しい先生が多いところ、先生と共通の話題で盛り上がることも多く、親しみやすさを感じます。授業も丁寧で、難しい数学の問題もわかりやすく教えてもらっています。

★平高で成長したことは？
主体性が成長したと思います。デザインの技術や知識を



平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

家庭研究部

丹内 美空さん

(普通科3年:西根中出身)



紫薫祭でお茶をたて、来校者におもてなしをする丹内さん

★将来の夢は？
グラフィックデザイナーやウェブデザイナーの職に就くことです。デザインの知識を専門に学べる学校に進学するため、日々の学習を大切にしていきます。デザイナーとして活動し、いずれは私の作品も地域に発信していきたいです。

ウェブデザイナーから直接教えてもらうことができるデザイン講座に、進んで参加しました。今後、自分のためになることを判断し、積極的に行動していきたいと思っています。



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

2年ぶりの応援歌練習

◆学校の伝統つなぐ大事なイベント

春の応援歌練習は4月20日から22日まで、3日間にわたって平高体育館で行われました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、大声を出すことや三密を避けるため、応援歌練習を中止していましたが、本年度は、生徒間の距離を十分に空け、ドアを開けて空



応援歌練習に臨む新入生

気の流れを作るなどの対策して行いました。厳粛な雰囲気の中、在校生が堂々とした態度で校歌・応援歌を熱唱。応援委員や生徒

会執行部は、伝統をつないでいくため、丁寧に新入生を指導しました。

【新入生の感想】▶平高の校歌や応援歌を歌うことで、上級生との一体感や学校の伝統を感じた▶先輩たちの真剣な態度を見て身が引き締まった

◆自転車安全利用モデル校に指定！

自転車安全利用モデル校指定書交付式は4月19日、平高校長室で行われ、北岩手安全運転管理者等事業主会(遠藤忠志会長)から全校生徒分のLEDライトが贈られました。ライトは自転車のハンドルに取り付け可能で、生徒を代表して生徒会長の神田萌さんは「交通ルールを守って生活したい」と決意を新たにしました。



ライトを手にする生徒たち

★平高を選んだ理由
地元が好きで、通学しやすさもあって平高に入学しました。部活にも勉強にも力を入れ、文武両道を目指せると思えました。
★平高で挑戦したこと
新しいことに挑戦したいと思い、高校からバスケットボールを始めました。初めは練習についていくのもやっとの思いでしたが、努力と負けず嫌いな性格で続けることができました。先輩が引退し、部員が女子と合わせて2人となったからは、顧問の先生の計ら

いで市内の社会人チームの練習に混ぜてもらい、技術を磨いた時期もありました。今年は7人の新入部員を迎え、毎日楽しく練習することができました。人数が少ない中で大会出場に不安はあったものの、3年間の集大成となる高総体に出場することができ、諦めずにバスケットを続けてきて良かったと感じています。
★将来の夢は？
市内の仕事に就きたいです。自分の関わった仕事で地域に貢献していきたいと思

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！



バスケットボール部 主将
高橋 皓太さん

(普通科3年:西根一中出身)



軽やかなドリブルから得意の3Pシュートを狙う高橋さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】 平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

平高野球部が歴史的勝利！

◆春季東北地区高等学校野球岩手県大会で初勝利

春季東北地区高等学校野球岩手県大会は、5月14日、一関運動公園野球場などで行われました。

平高野球部は大会1日目第2試合に登場し、高田高校と対戦しました。初回1点を取られて迎えた2回裏、2死満塁のチャンスを生かして逆転。試合の主導権を握ると、打っては17安打の猛攻で



逆転の適時打を放った佐々木選手

得点を重ね、投げては先発瀬川が緩急をつけた投球で相手打線を抑え、高田高校の猛追を振り切り、6対5で勝利しました。続く2回

戦で、本大会優勝した花巻東高校と対戦し敗れましたが、多くの先輩が成し遂げられなかった春の県大会1勝は、夏季大会に向けて大きな弾みとなりました。

◆ICT授業と対話型授業を推進

平高では、本年度からWi-Fi環境を整え、授業に活用しています。加えて超短焦点プロジェクターや電子黒板を備え、全教科でスマートフォンやノートパソコンなどを用いて、検索ツールで興味・関心のあることを調べたり、発表資料の作成をしたりと生徒の学びに生かしています。生徒同士の対話を授業に反映させるなど新しい形の授業展開に挑戦中です。



ICTを活用した授業風景

★平高で頑張っていること
野球部に所属し、毎日練習で汗を流しています。また、2年生からは保育・福祉系を専門に学べるライフデザインコースに進み、家庭科技術検定や情報処理検定などの商業

★将来の夢は？
接客業など人との関わりを大切にする仕事に就きたいです。参加できる実習には、積極的に参加し、経験を積んでいきます。

★平高を選んだ理由
家政科学科では、保育、被服、調理などの実習が多く、社会に出たときに役立つ技術が習得できると思っただけです。また、福祉活動やボランティア活動に参加する機会が多いことが平高を選んだ理由です。

★夏の大会への意気込みは？
学年に関係なく仲がいいところが平高野球部の特徴です。抜群のチームワークを生かして、春の大会以上の成績を収められるよう練習に励みますので、応援よろしくお願いします。



平高 LIFE
平高生活を送る生徒を紹介！

野球部 主将
武藤 快成さん
(家政科学科3年：西根中出身)



盛岡地区予選、県大会出場が懸かる9回2死1塁のピンチの場面で投手に声を掛ける3塁手武藤さん



体育祭&八幡平を満喫！

◆平高体育祭を開催

令和3年度体育祭が6月24、25の両日、平高グラウンドと体育館で開かれました。

種目は、クラス対抗形式でリレーやソフトボールなどの球技を含めた7種目を実施。各クラスの生徒数が異なるので、人数調整や運動部の出場要件を緩和するなど、工夫を凝らして開催しました。



花形種目クラス対抗リレー

全員がスポーツを楽しみ、フェアプレーを意識した思いやりにあふれるプレーが目立ち、激しくも温かな体育祭となりました。

◆八幡平の自然に触れ、観光を知る

家政科学科2年生は6月30日、自然や文化を感じ、観光について学ぶ「地域観光基礎」授業の中で、八幡平の美しい観光資源を体感しました。

本事業で講師をしているI-Attractの鈴木絵美さんや登山ガイドの畠山聖徳さんの案内で山頂や湿原を散策し、地域の魅力に触れました。

参加した羽沢亜梨沙さん(安代中出身)は「高山植物について学び、展望台から見える八幡平の景色やカルデラ湖の神々しい雰囲気感動した。卒業後はブライダル関係の仕事に就きたいので、市を離れることになると思うけれど魅力あふれる地元に戻ってきたい」と力強く語りました。



自然を満喫する生徒たち

学校全体で行事を盛り上げようとするとところや情報処理検定など商業系の資格取得に挑戦できる場所です。親身になって相談に乗ってくれる先生が多いところも魅力です。

★平高の魅力は？
紫根染という伝統の継承に関わりたいと思ったことがきっかけです。盛岡の高校進学も考えましたが、通学時間が適度なことで、平高でできることはたくさんあると思います。受験しました。

★平高を選んだ理由



バレー部

阿部 美羽さん

(普通科2年:安代中出身)

★夢を実現するために努力していることは？
休日にインターネットで流行の髪型やファッションをチェックし、イメージを膨らませています。体力が必要な仕事なので、部活動で日々鍛えています。

★将来の夢は？
将来は美容関係の仕事に就きたいです。お客さんの声を聞き、魅力を引き出せるようになりたいです。私に関わったことによってその人の人生に良い影響を与えられたらうれしいです。



体育祭で強烈なサーブを打ち活躍した阿部さん(前列左から1人目)と優勝した仲間との記念写真



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

吹奏楽部県大会出場 & 体験入学

◆吹奏楽部がコンクールで活躍

第59回県吹奏楽コンクール(第44回県高等学校総合文化祭吹奏楽部門)は8月2日、北上市文化交流センターで開かれ、平高吹奏楽部は小編成の部(30人以下)に出場し、銅賞を受賞しました。

生徒たちは大きなミスもなく、最後まで自信をもって自由曲「北の鳥たち」を演奏。一人一人が自分のできることをすべて出し切るという目標で臨み、13人の力を合わせた平高らしい演奏を披露することができました。



(写真)ナカムラ写真館提供

演奏を披露する吹奏楽部

生徒たちは、今後

さらに技術と表現力を磨き、3年生部員最後の発表となる文化祭に向け練習に励んでいきます。

◆1日体験入学を実施

7月30日、中学生を対象に1日体験入学を行い、市内外から48人が参加しました。

授業体験では、モーター製作や紫根染紹介、ひょうたん池など市の歴史学習、プログラミングなどを実施。参加者からは「生徒が明るく楽しそう」「いろんなことができるようになった」などの声が上がりました。平高生活のイメージを膨らませる貴重な機会となりました。

例年より参加人数は少なかったとはいえ、趣向を凝らした部紹介など大いに盛り上がりました。



平高の活動を紹介する生徒会

初めて会う人と話すのが苦手なので共通の話題を探して自分から声を掛けるように意識しています。また、日本文化を学ぶため、家庭研究部に入部しました。男子部員は私1人ですが、茶

★平高を選んだ理由
食に関する仕事に就きたかったことと、中学校で学んだ家庭科の内容をより詳しく学びたかったことが平高家政科を選択した理由です。
★学校生活で頑張っていることは？

★将来の夢
美しい自然に囲まれた八幡平市で就職して、地元に貢献していきたいです。

道や華道の作法などを身につけるために毎日努力しています。
市には、観光や移住など、さまざまな目的で中国や台湾出身の人たちが来ていて、交流の輪を広げたいと思い、NHK中国語講座やYouTubeを活用して中国語を勉強しています。八幡平DMOにいる台湾出身の人と話せたときは、とてもうれしかったです。

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介!



家庭研究部

千葉 陸さん

(家政科3年:松尾中出身)



型にとらわれず自由に生ける草月流で八幡平の自然を表現する千葉さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

インターハイで平高相撲部が躍進！

◆個人戦で初代王者、団体戦でベスト16に輝く

令和3年度全国高等学校総合体育大会相撲競技は8月6日から8日まで、新潟県糸魚川市民総合体育館で開かれ、個人戦、団体戦と平高相撲部が目覚ましい活躍を見せました。

個人戦では、今年度から新設された体重別戦100kg級で、工藤佳太選手(1年)が県勢64年ぶりとなる全国制覇を達成しました。



個人戦で優勝した工藤佳太選手

長い相撲となった初戦、工藤選手は相手の猛攻を必死にこらえ浴びせ倒して勝利。勢いに乗り勝ち上がりました。大接戦と

なった準決勝は立ち合いから相手に攻め込まれながらも投げの打ち合いに持ち込み、小手投げ。審判から物言いがつく際どい勝負となりましたが、一瞬の差で勝利しました。決勝戦は落ち着いて相手を突き落とし、1年生ながらも初代王者となりました。

続く団体戦では、予選を全勝で突破し、迎えた決勝トーナメント一回戦。先鋒工藤煌斗選手が粘って勝つと、中堅田村昂大選手、副将伊藤憂選手は勢いのある相撲で勝ちました。2回戦では、優勝した鳥取城北高校と戦い、大将の工藤晃太選手が意地を見せ1勝したものの敗北し、ベスト16に。1、2年生のみで構成した成長途中のチームは、この経験を胸にさらなる活躍を誓いました。



立ち合いに臨む工藤晃太選手

★全国優勝したときの感想は？
優勝したときは、とてもうれしかったのですが、実感が湧きませんでした。岩

部活動だけではなく、勉強にも力を入れていきます。文武両道は難しいですが、授業は分かりやすいですし、先生も優しく教えてくれます。

★平高で頑張っていることは？
父の故郷であり、昔から相撲が盛んな八幡平市を、小さいころから続けている相撲で盛り上げたいと思ったのが理由です。

★平高を選んだ理由



平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

相撲部

工藤 佳太さん

(普通科1年:盛岡河南中出身)

★これからの目標と将来の夢
全国三連覇を目指します。将来は教員になり、後進の指導に力をいれて、指導者として相撲を盛り上げたいです。

★優勝の要因は？
四股、摺り足、ぶつかり稽古などの基礎練習を大切に練習後の筋トレを継続した結果だと思えます。また、鈴木先生や遠藤コーチなど周りの人たちの協力が大きかったと思います。

★平高を選んだ理由
父の故郷であり、昔から相撲が盛んな八幡平市を、小さいころから続けている相撲で盛り上げたいと思ったのが理由です。



仲間とともに切磋琢磨しあいながら成長を続ける平高相撲部



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

校外学習で学びを深める

◆文化祭で八幡平市探究の結果を発表

10月16、17の両日、平高の文化祭である紫薫祭を開きました。昨年度から取り組みを始めた八幡平市探究(通称「ハチタン」)の取り組み結果を学年ごとに発表しました。

ハチタンは、市の歴史や自然、地域の課題などを調査・探究して地元を理解を深める活動。



動画を見る生徒たち

1、2年生はレポートや模造紙に調査結果をまとめて展示し、3年生は7チームに分かれ、市の歴史や土地利用、子育て支援など幅広い

テーマで制作した動画を放映しました。新型コロナウイルス感染症対策で入場者の制限はあったものの、3年生が自身のスマートフォンを使って、脚本、撮影、編集までを手がけた完成度の高い作品に、会場は大いに盛り上がりました。

◆市内を巡り、魅力を学ぶ校外学習

1、2年生は7月から9月にかけて、不動の滝や松尾鉱山資料館、市博物館などを巡り、市の歴史などを学びました。

市博物館で鹿角街道の展示を見学した1年生は、市が江戸時代に米や鉱物資源の流通に大きな役割を果たして繁栄していた歴史を学び、当時の情景に思いをはせました。



展示から歴史を学ぶ1年生

★平高を選んだ理由
近所に住んでいる先輩が毎日楽しそうに平高に通っている姿を見ていたからです。
★平高で頑張ったことは？
私は2年生のときに応援団長に立候補しました。人前に出ることが苦手な私が、応援団長に立候補したときは、みんな驚いた様子でした。団長を決めるとき、誰も立候補しない状況だったので「誰もやらないなら自分がやろう。自分がやらなきゃ」と決意しました。なぜそんな勇気が沸いたのかは今でもよくわかりませ



平高
LIFE
平高生活を送る生徒を紹介！

元応援団長

齋藤 斗羽さん

(普通科3年:安代中出身)

ん。心の奥の自分が奮い立たせてくれたのかもしれない。始めは、緊張してうまくいきませんでした。回数を重ねるごとに自信がついてきて、段々と全校生徒を見渡し指示を出せるようになりました。応援団長になり、内気な性格を克服することができました。
★卒業後の自分
安代地区にある企業に就職が決まりました。いつも励ましてくれた父に恩返ししたいと思います。応援団で身に付けた度胸を胸に、地域を盛り上げるために頑張ります。



応援団長として在校生を指示し、新入生に応援歌を披露する齋藤さん



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

着実に力をつける平高山岳部

◆山に挑み続ける

平高山岳部は、平成11年度に県で開かれた全国高等学校総合体育大会優勝という輝かしい実績があります。そんな偉大な先輩たちに追いつこうと日々活動しています。

現在の部員は男子4人で全員が2年生です。4月から10月までの登山シーズンは、毎日筋力トレーニングや平高裏



源太ヶ岳山頂での一枚

の館山登りなどを続け、週末は、近隣の山々に挑んでいます。5月に開かれた県予選では10チーム中7位、10月の新

人戦では11チーム中5位と着実に実力をつけています。新チームで臨む来年度の県大会の目標は3位以上。平高山岳部OBの田中耕一コーチ指導の下、目標に向かい練習に励んでいます。

【部員の声】▶最後まで頑張る根性(工藤優希さん)▶何でも言える仲間(池内一輝さん)▶楽しく過ごせるし、みんなで絶景が見れる(松浦旬哉さん)とそれぞれチームの良さを表現しています。

◆登山を通じて異文化交流

来年度には、ハロウィンターナショナルスクール安比校が開校予定です。主将の畠山北斗さんは「八幡平市での登山を通じて交流したい」と期待を寄せています。



七滝でリフレッシュ

似たような名称が多く出てくる歴史が苦手です。特に偉人たちの名前を覚えることに苦労しますが、苦手を得意科目にしようと諦めずに

★学校生活で頑張っていることは？

似たような名称が多く出てくる歴史が苦手です。特に偉人たちの名前を覚えることに苦労しますが、苦手を得意科目にしようと諦めずに

小学生のときに紫根染を体験して、さまざまな模様がきれいな紫色に染め上がることに興味を持ったことと、中学生の時に見た平高吹奏楽部の演奏がとてもかっこよく、私も仲間に加わりたと思ったので平高を選びました。

★平高を選んだ理由



平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介!

吹奏楽部 部長
佐藤 愛花さん
(家政科2年:西根一中出身)

市内で介護福祉士として働きたいです。近所に住んでいる祖父母やお年寄りの世話をしたり、困っている人を助けたいです。そのために部活動などを通じて体力面や精神面も鍛えています。

★将来の夢は？

反復学習をしています。また、私は吹奏楽部で部長をしています。一人一人の技術力の向上など課題が多いため、プレッシャーに感じることもあります。ですが、部員と顧問の先生に助けられながら頑張っています。



紫薫祭のステージ発表でクラリネットを演奏する佐藤さん(右から1番目)



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

いわて復興教育推進事業に参加

◆山田高校と心温まる交流

平高生徒会執行部8人と家庭クラブ役員8人は11月29日、震災を風化させないための取り組みとして山田高校と毎年行っている交流学习をしました。

生徒会交流では、地域に根差した小規模校の在り方や時代に合わせた校則への転換などの意見交換を行い、家庭クラブ交流では、料理を通じて親



盛り付けに集中する平高生

睦を深めるため、山田町と交流のあるオランダの海鮮グラタン「ビスパネチェ」や市の食材を使った豚汁を共同で作りました。また、特色ある

活動について発表し合う場を設け、平高はエコバック使用を推進する家庭クラブ活動を、山田高は復興・防災活動を発表して互いの活動に理解を深めました。生徒たちは、よく耳にする防災意識を体験に基づいて実践している同世代から直接学べる機会に、集中して耳を傾けていました。

同校との交流は東日本大震災発生後、平高山岳部が野外炊飯などのボランティア活動をしたことで始まり、現在は県の事業として交流を続けています。

【生徒の感想】▶山田高校は早くから校則改定に取り組み、深く考えていた。

▶震災を全て悲しい経験と捉えるのではなく、これからどう生きていくかを考えることが大切ということを学んだ。



山田高校の生徒と一緒に食事

★学校生活での思い出は？
普段あまり話せないクラスメイトとも交流し、クラスが一つにまとまればいいなどの思いで生徒会行事に取り組みました。特に紫薫祭は印象的で、テーブルや水風船などをクラス一丸となって飾り付けたこと、屋台コーナーで来校し

★平高を選んだ理由
平高に通っていた兄から「先生との距離が近く、勉強も部活も力を入れていっている」という話を聞き、平高なら自身の成長につながると感じ入学を決めました。

★将来の夢は？
美容関係に進んで、たくさんの人をきれいにし、幸せを感じてもらうことが夢です。将来は自分の店を持ちたいと考えています。そのため、卒業後は北日本ヘアスタイリストカレッジに進学し、美容について基礎から学びます。

★平高を選んだ理由
平高に通っていた兄から「先生との距離が近く、勉強も部活も力を入れていっている」という話を聞き、平高なら自身の成長につながると感じ入学を決めました。



平高
LIFE
平高生活を送る生徒を紹介！

こはる
甲斐 香遥さん

(普通科3年:松尾中出身)



ペアを作って学習する授業の中で、クラスメイトと交流を深める甲斐さん(写真中央)



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】 平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

家庭クラブが5年連続全国大会出場

◆最優秀賞を受賞した手作りマイバッグ

第69回東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会は12月10日、新型コロナウイルス感染防止対策のためオンラインで開かれ、学校家庭クラブ活動の部で平高が最優秀賞を受賞し、5年連続で全国大会(令和4年7月28日、29日)出場を決めました。

「持ち歩こう！ “My Bag” in Your Pocket ~



最優秀賞受賞を喜ぶ生徒たち

Handmadeの楽しさと『つくる責任・つかう責任』~」をテーマに、SDGsの17の目標のうち、本年度は「つくる責任・つかう責任」に

焦点を当て、研究を進めました。海を汚すポリ袋などのプラスチックごみ問題を解消する一つの手段として、マイバッグの製作を考案。無駄な布が出にくい直線裁ち製法を採用し、持ち手には裏地を付け、平高手づくりの印としてタブに紫根染を用いました。環境への意識の高さと細かな工夫が高く評価されました。

◆地元の小学校での普及活動

マイバッグを持ち歩くことが当たり前な社会になるように、紫根染体験教室で縁のある小学校を訪問し、普及活動を続けています。小さな活動でも未来の生活を守ることに繋がると信じ、児童たちに手渡ししています。



寺田小にマイバッグを贈呈

★平高に入学した理由
小さい頃から転校が多く、高校は3年間同じところで生活したいと思い、八幡平市に住む祖父母の実家近くにある平館高校を選びました。
★平高で頑張っていること
両親と離れて暮らしているため、身の回りことなど全て自分でやれるように努力しています。少し寂しい時もありますが、両親も応援してくれているので、卒業後に自立した生活を送るための予行練習だと思っています。



平高
LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

生徒会執行部副会長

高橋 愛雄さん

(2年：宮城県仙台市立仙台第一中出身)

★平高の魅力は？
仙台の高校とは違い、生徒数が少ない分、先生や生徒同士の距離が近く、家族のように親密なれます。多くの人と交流することができ、自身を見つめ直す機会があることも魅力です。
★将来の夢
金融関係の仕事に就くために大学で経済学を学びたいです。そのために、勉強はもちろん、社会人としての礼儀・作法などの習得にも力を入れて取り組んでいます。



生徒会役員選挙で「平高をもっと盛り上げたい」と力強く演説する高橋さん(左)



平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平館高 ☎ 74-2610 HP : <http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/>

スキー部が地元開催の大会で躍動！

◆県内大会で力強い滑りを披露

第71回県高等学校スキー大会は1月8日から10日まで安比高原スキー場で開かれ、平高スキー部からは、山下希風選手(1年)と工藤瑞歩選手(2年)が出場しました。

工藤選手はアルペン競技の回転と大回転で2冠を達成し、インターハイのシード権を獲得。「高校に入ってから精神面が成長した。インターハイでは練習の成果を発揮し自分の滑りをしたい」と決意を語りました。山下選手も大



安定感ある滑りを披露した工藤選手

回転で3位となり今後の活躍を期待させる滑りを披露しました。

回転で3位となり今後の活躍を期待させる滑りを披露しました。

◆地元開催のインターハイで健闘

第71回全国高等学校スキー大会は2月7日から10日まで11年ぶりに八幡平市を会場に開かれました。アルペン競技の大回転、回転に出場した工藤選手は、県勢最高位となる23位、25位と健闘。回転に出場した山下選手は42位という結果でした。卒業生の新田雅人さん(日体大)以来の入賞とはならなかったものの、日頃の成果を発揮したインターハイとなりました。今後も全国上位を目指しトレーニングに励む平高スキー部から目が離せません。



果敢に攻める山下選手

★努力していることは？
4歳から始めた空手を継続して取り組んでいます。田頭

★学校生活での思い出
ペアワークを中心とした授業が多く、普段話す機会が少ない人と交流でき、いろんな考えを聞くことができたことです。毎日楽しく過ごしていました。

★平高に入学した理由
学校説明会で、先輩たちが仲良く楽しそうに話していた姿が印象的で、平高なら自分もたくさん友だちができると思い、入学しました。

★平高に入学した理由



平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

古川 賛さん

(普通科3年：松尾中出身)

★卒業後の自分
岩手県警察に採用になりました。地域住民に慕われる警察官として誰かの役に立ちたいと考えています。可能なら、地元の八幡平幹部交番に勤務したいです。いずれは交通機動隊になれるようがんばります。

コミュニケーションセンターで週2回稽古に励んでいるため、心身が鍛えられ、心に余裕ができて穏やかになった気がします。大会に出場することがあり、仲間たちと切磋琢磨しています。



幼少期から空手に取り組み大会で型を披露する古川さん